

AckV2(アプリケーションコマンダー改 V2) 取り扱い説明書

この度はエムズテクノロジー製ソフトウェアをご利用頂きありがとうございます。

本資料では AckV2(アプリケーションコマンダー改 V2)の取り扱いについて記載しております。熟読の上ご利用ください。

AckV2(アプリケーションコマンダー改 V2)とは

本ソフトウェアは、事前登録型のコマンドランチャーという位置づけのソフトウェアです。ユーザーが任意で登録したソフトウェア、フォルダー、ウェブサイト等をコマンドを用いて起動する事が出来ます。

マウスを用いずにキーボードから任意のコマンド入力で起動を行うことが出来るため、手の移動範囲を下げ、作業効率を上げることが可能です。

利用形態

本ソフトウェアはエムズテクノロジーが提供するフリーソフトウェアです。ご利用にあたって利用料金が発生することはありません。このためユーザーサポート等は最低限とし、基本的には一切行わないものとします。

動作環境

Microsoft Windows 10 Home / Pro

Microsoft Windows 11 Home / Pro

※上記 OS の動作条件下において正常動作する環境において動作することを確認しております。それぞれ 32bit 版、64bit 版にのみ対応しており、ARM 版には対応しておりません。

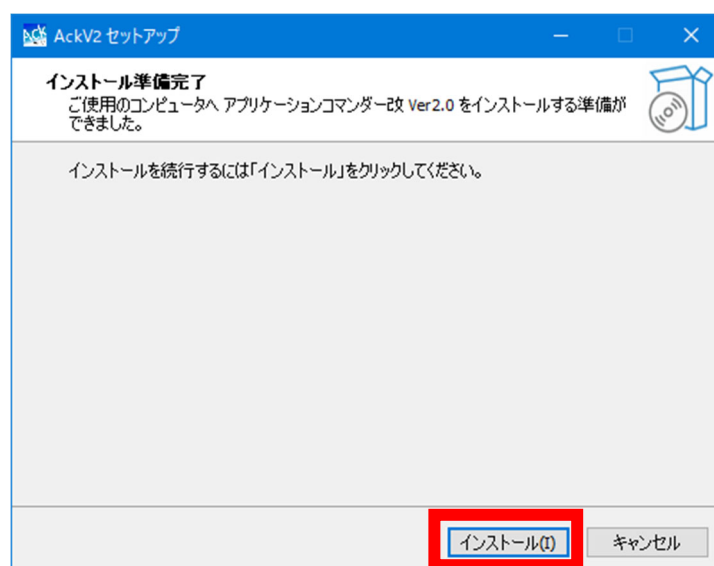
動作仕様

本ソフトウェアは Windows システムのホットキーを利用しており、初期設定では「Ctrl+Space」をキーボードより入力すると、本ソフトウェアがデスクトップ上に表示されコマンド入力待機状態となります。

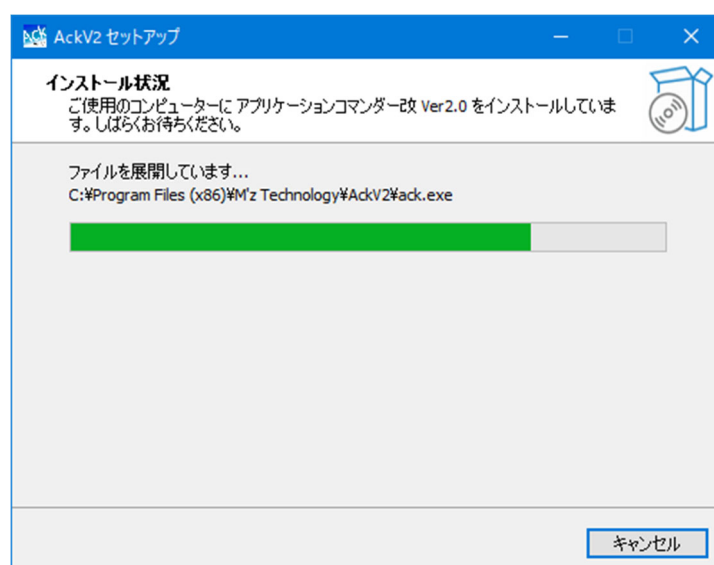
インストール

ウェブサイトよりダウンロードした「AckV2.XXXX.exe」を実行し、インストーラーを起動して下さい。インストーラー起動時に「このファイルは信頼～」と表示されますが、「はい」を押すことでインストーラーが起動します。

インストーラーの起動後、「インストール」ボタンを押下しインストールを開始して下さい。



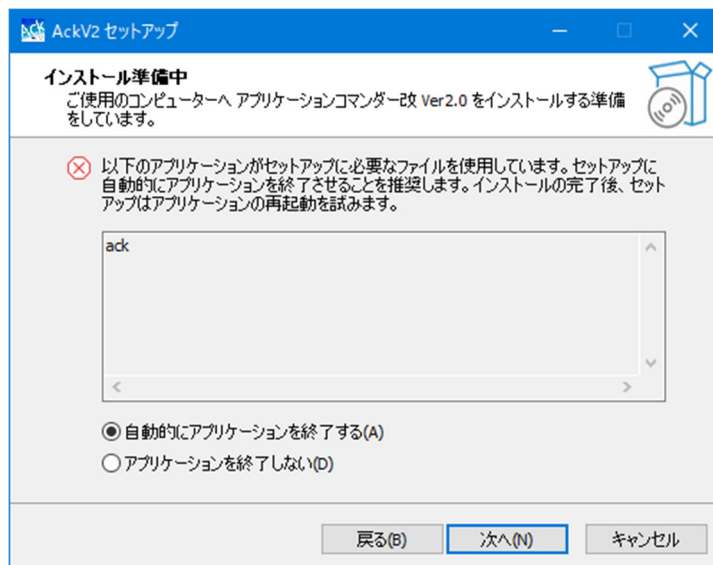
所定のインストール先へインストールが実行されます。



インストールが完了後、「AckV2 を起動する」にチェックをつけたまま「完了」ボタンを押下し、セットアップを完了して下さい。



インストール開始後に以下の画面が表示された場合、既に本ソフトウェアがインストール済みで起動していた場合に表示されます。アップデートを行う場合は「自動的にアプリケーションを終了する」にチェックし、「次へ」を押下することでインストールが継続されます。



アンインストール

通常のソフトウェアと同様に「アプリと機能」や「プログラムと機能」からアンインストールを行って下さい。

図:「アプリと機能」の場合

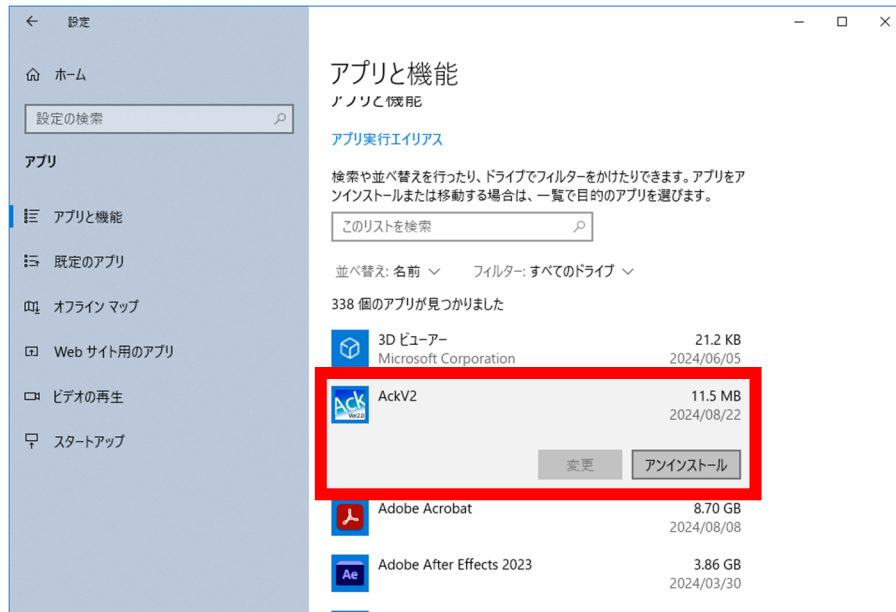
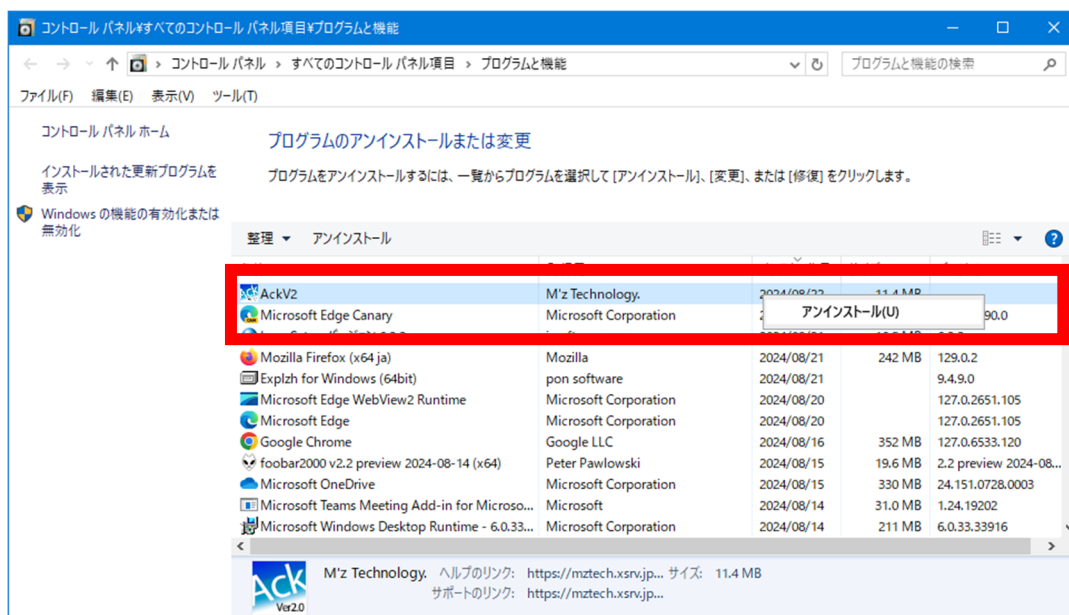


図:「プログラムと機能」の場合

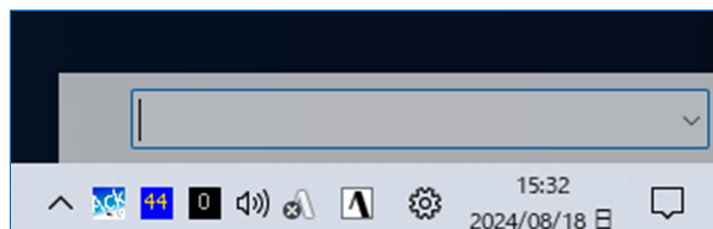


実行

「ack.exe」をダブルクリック等で実行してください。AckV2 が実行されると Windows のタスクトレイにアイコン  が登録されコマンド入力待機状態となります。

操作

初期設定ではキーボードから「Ctrl+Space」を入力することにより、本ソフトウェアが表示されコマンド入力待機状態となります。この状態でユーザーが設定したコマンドの入力を行い「Enter」キーを押下することでコマンドの実行が行われます。



オプション設定

本ソフトウェアを利用するにあたって「option」コマンドを入力するか、タスクトレイに表示されている本ソフトウェアのアイコンを右クリックすることで表示されるポップアップメニューから「オプション設定」を選択し、本ソフトウェアの設定を行う必要があります。

図: コマンド入力の場合

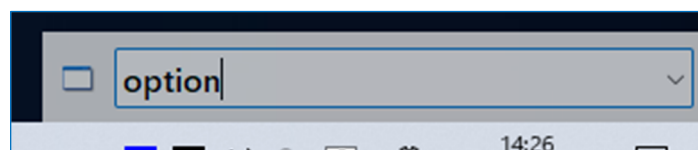
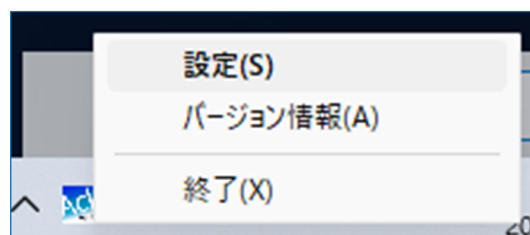


図: メニューの場合



「オプション設定」画面が表示され、本ソフトウェアを利用するために必要な設定を行うことができます。

コマンド	リンク先	オプション	作業フォル...	権限	ウィンドウサ...	コメント

本ソフトウェアはユーザーが必要とするコマンドの登録を行うことで、コマンド入力によって操作することが可能となる事前登録型のランチャーです。

コマンド設定

本ソフトウェアで入力可能とするコマンドを登録、編集、削除することが出来ます。各入力項目については以下表を参照下さい。

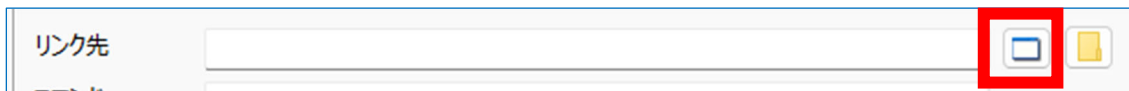
リンク先		 
コマンド		
オプション		
作業フォルダー		
コメント		
権限	ユーザー  ウィンドウサイズ 通常 	

リンク先	実行ファイル(exe,com)やディレクトリ、ウェブサイトアドレスなどを指定することが出来ます。 ウェブサイトアドレスを指定した場合は、標準のブラウザに設定されているブラウザで表示されます。異なるブラウザで起動したい場合はリンク先にはブラウザを、オプションにウェブサイトアドレスを指定するといった使い方が出来ます。
コマンド	リンク先に指定したものを、どういったコマンド名で起動させるかを指定します。 半角英数字のみ利用することが出来ます。
オプション	リンク先に指定したプログラムなどにオプション引数が必要な場合に指定することが出来ます。
作業フォルダー	実行ファイルを指定した場合、実行ファイルが動作するために必要な作業フォルダーを指定します。
コメント	必要な場合にコメントを入力してください。
権限	「ユーザー」または「管理者」の権限で起動させるか指定することが出来ます。 但しログインユーザーの権限が不足している場合は管理者権限での起動が出来ない(パスワード入力が必要な)ことがあります。
ウィンドウサイズ	起動するプログラムのウィンドウサイズを「標準」「最小化」「最大化」のいずれかで指定することが出来ます。起動するプログラムの仕様によって本指定が正しく動作しないことがあります。

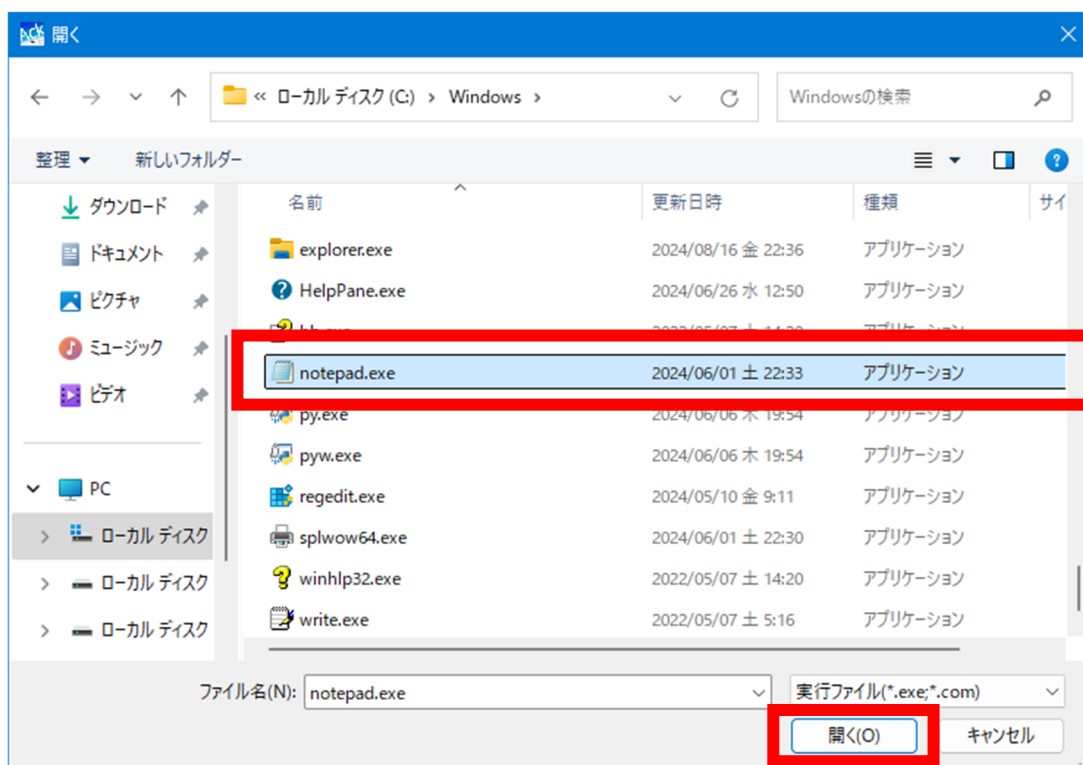
コマンド設定例(プログラム登録)

プログラム(アプリケーション/ソフトウェア)を登録する場合は、以下の手順で行います。

- ① リンク先の赤枠部分ををクリックすることで、プログラム選択画面が表示されます。



- ② 登録したいプログラムを選択し、開くボタンを押下します。



- ③ プログラムを選択すると以下のように項目が自動入力されますが、コマンドはユーザー任意に変更するなども可能です。

リンク先	C:\Windows\notepad.exe		
コマンド	notepad		
オプション			
作業フォルダー	C:\Windows		
コメント	Microsoft® Windows® Operating System		
権限	ユーザー	ウィンドウサイズ	通常

※プログラムの場合、「リンク先」、「コマンド」、「作業フォルダー」が入力必須項目となります。

④ 入力後に「登録」ボタンを押下することで、コマンドが登録されます。

権限 ユーザー ヲ ヲ ウィンドウサイズ 通常 ヲ

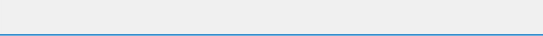
登録 削除 編集 適用 追加 キャンセル

コマンド	リンク先	オプション	作業フォルダ	権限	ウィンドウサイズ	コメント

⑤ 「登録」ボタンを押下するとコマンド一覧に表示され、コマンドが利用できる様になります。

登録 削除 編集 適用 追加 キャンセル						
コマンド	リンク先	オプション	作業フォル...	権限	ウィンドウサ...	コメント
☒  notepad	C:\Windo...		C:\Windows	ユーザー	標準	Microsoft® Wind.

これらの操作(①～⑤)を続けることで、その他のプログラムも登録していくことが出来ます。
登録が済んだ後、オプション設定画面の下部にある「閉じる」ボタンを押下し登録作業を終了ま
す。

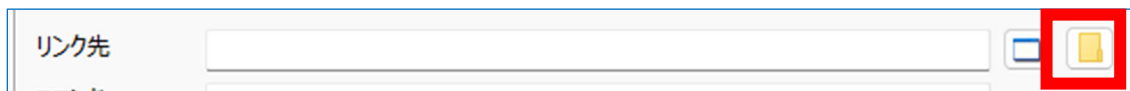


The screenshot shows the bottom right corner of the application window. A red rectangle highlights the '閉じる(C)' (Close) button, which is a standard Windows-style button with a red border and the text '閉じる(C)'.

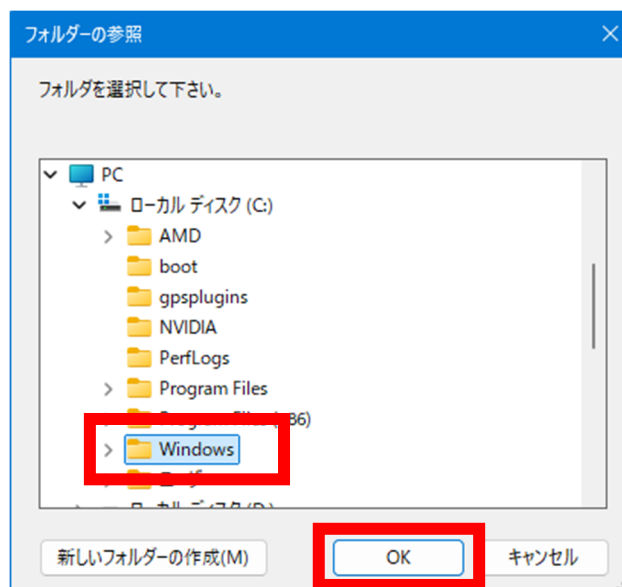
コマンド設定例(フォルダー登録)

任意のフォルダー(ディレクトリ)を登録する場合は、以下の手順で行います。実体がないフォルダーの登録は出来ません。

- ① リンク先の赤枠部分をクリックすることで、フォルダー選択画面が表示されます。



- ② 登録したいフォルダーを選択し、「OK」ボタンを押下します。



- ③ リンク先とコマンドに選択されたフォルダーから自動入力されます。コマンドにはユーザー好みの文字列を入力し直すことも可能です。

リンク先	C:\Windows	
コマンド	Windows	
オプション		
作業フォルダー		
コメント		
権限	ユーザー	ウインドウサイズ 通常

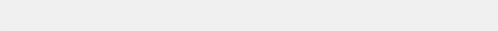
※フォルダーの場合、「リンク先」、「コマンド」が入力必須項目となります。

権限	ユーザー	ウィンドウサイズ	通常			
登録	削除	編集	適用	追加	キャンセル	
コマンド	リンク先	オプション	作業フォル...	権限	ウィンドウサ...	コメント

権限 ユーザー ヲブション ヲブション 通常

登録 削除 編集 適用 追加 キャンセル

コマンド	リンク先	オプション	作業フォル...	権限	ウィンドウサ...	コメント
☒  Windows	C:\Windows			ユーザー	標準	



The screenshot shows the bottom right corner of the application window. A red rectangle highlights the '閉じる' (Close) button, which is a small square button with the text '閉じる' and a close icon.

コマンド設定例(ウェブサイト登録)

任意のウェブサイトを登録する場合は、以下の手順で行います。

- ① リンク先に直接ウェブサイトのアドレスを入力します。直接入力を行うか、ウェブサイトアドレスをペーストして下さい。

リンク先			
------	----------------------	---	---

- ② リンク先に google のサイトアドレスを入力します。

リンク先	https://www.google.com		
------	---	---	---

- ③ コマンドには「google」と入力します。

リンク先	https://www.google.com		
コマンド	google		
オプション			
作業フォルダー			

※ウェブサイトの場合、「リンク先」、「コマンド」が入力必須項目となります。

- ④ 入力後に「登録」ボタンを押下することで、コマンドが登録されます。

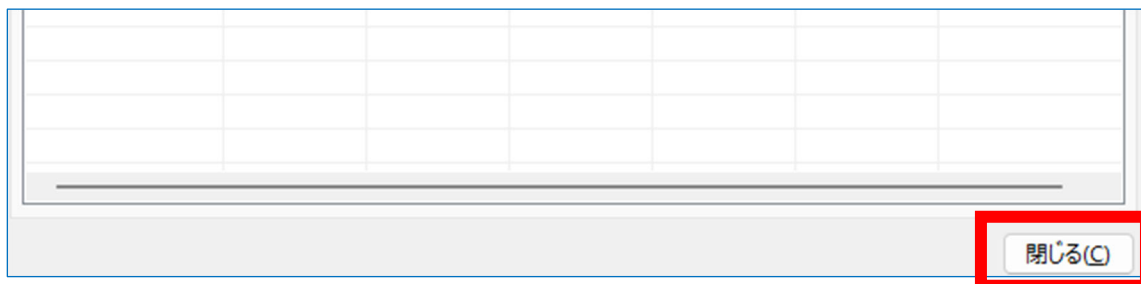
権限	ユーザー	ウィンドウサイズ	通常			
登録	削除	編集	適用	追加	キャンセル	
コマンド	リンク先	オプション	作業フォル...	権限	ウィンドウサ...	コメント

- ⑤ 「登録」ボタンを押下するとコマンド一覧に表示され、コマンドが利用できるようになります。

登録	削除	編集	適用	追加	キャンセル	
コマンド	リンク先	オプション	作業フォル...	権限	ウィンドウサ...	コメント
 google	https://w...			ユーザー	標準	

これらの操作(①～⑤)を続けることで、その他のウェブサイトも登録していくことができます。
登録が済んだ後、オプション設定画面の下部にある「閉じる」ボタンを押下し登録作業を終了し

ます。



コマンドの有効・無効設定

「コマンド設定」に表示されるコマンドの一覧において、チェックボックスの操作により当該コマンドの有効・無効を設定することが出来ます。

チェックが付与されているコマンドが「有効」状態です。有効状態とは、コマンドウィンドウにて入力が可能になる状態です。

コマンド	リンク先	オプション	作業フォル...	権限	ウインドウサ...	コメント
☒ access	https://w...		C:\Progra...	ユーザー	標準	
☒ access	C:\Progra...		C:\Progra...	ユーザー	最大化	Microsoft Acc
☒ access	C:\Progra...		C:\Progra...	ユーザー	標準	

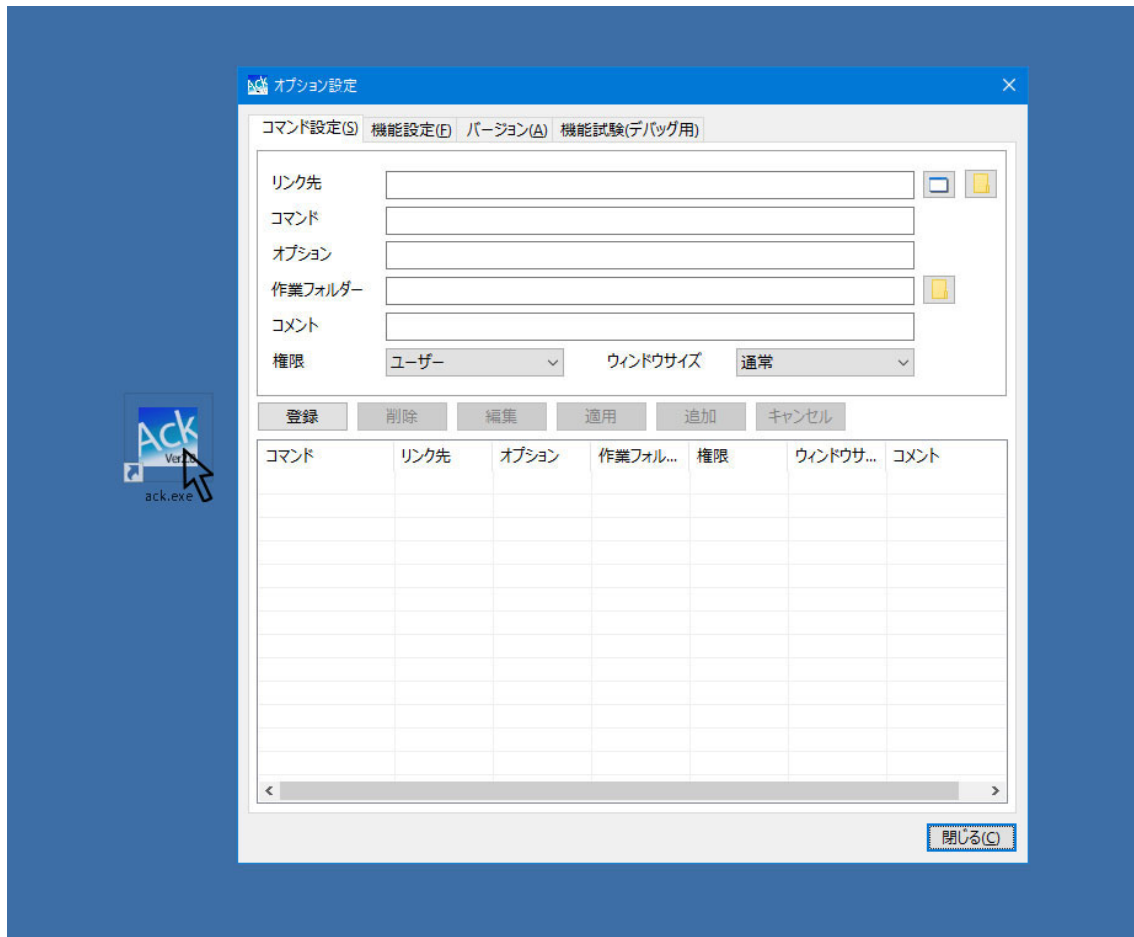
チェックが外されているコマンドが「無効」状態です。無効状態とは、コマンドウィンドウにて入力出来ない状態です。

コマンド	リンク先	オプション	作業フォル...	権限	ウインドウサ...	コメント
☐ access	https://w...		C:\Progra...	ユーザー	標準	
☐ access	C:\Progra...		C:\Progra...	ユーザー	最大化	Microsoft Acc
☐ access	C:\Progra...		C:\Progra...	ユーザー	標準	

有効・無効設定はコマンドウィンドウに反映され、有効状態では候補に表示されますが、無効状態では候補に表示されなくなります。

ドラッグ＆ドロップによるコマンド登録

「ファイルを開く」や「フォルダを開く」で選択せずに、「オプション設定」画面に登録したいファイルやフォルダ等をドラッグ＆ドロップすることでも登録させることが可能です。



予約コマンド

ユーザーが登録するコマンドの他に本ソフトウェアでは予約コマンドが存在します。予約コマンドと同一名のコマンドを登録することは出来ません。

予約されているコマンドと、その動作については以下一覧を参照下さい。

コマンド	機能
exit	本ソフトウェアを終了します。(quit と同じ)
logoff	現在 Windows にログインしているユーザーセッションを終了します。Windows のログオフと同等の機能です。
option	本ソフトウェアの設定画面を表示します。
quit	本ソフトウェアを終了します。(exit と同じ)
reboot	Windows を終了し、パソコンの再起動を行います。
shutdown	Windows を終了し、パソコンの電源を落とします。
version	本ソフトウェアのバージョンを表示します。
lock	現在 Windows にログインしているユーザーセッションをロックします。
screen	スクリーンセーバーが起動可能であれば、スクリーンセーバーを起動します。

※本ソフトウェアのバージョンアップにて予約コマンドが増える可能性があります。その際にはバージョンアップ時に当該マニュアルやウェブサイトにて提示します。

ユーザーデータ保存場所

AckV2 ではユーザーデータの保存にデータベース(SQLite3)を用いており、データベースデータとして以下の場所に保存します。

C:\¥Users¥[username]¥ack.db ←[username]はログインユーザー名

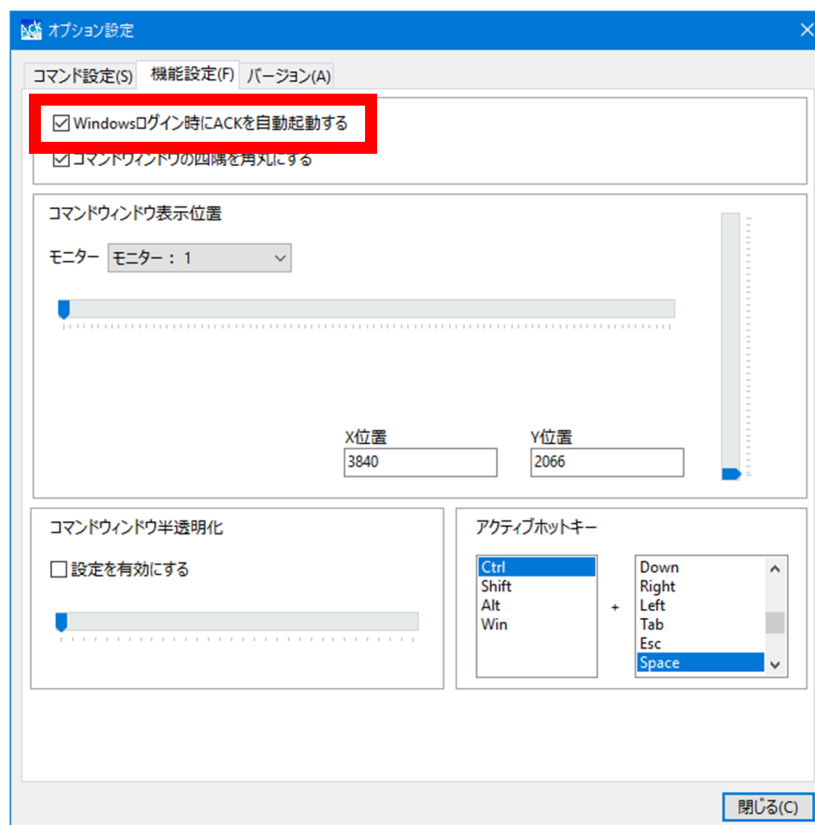
ユーザー毎に異なるデータとなるため、同一 PC で異なるユーザーで Windows にログインした場合、それぞれのユーザーデータが存在します。

異なる PC にユーザーデータを移す場合、上述のアドレスに保存されている ack.db を異なる PC へ移す必要があります。

スタートアップ設定

本ソフトウェアはオプション設定画面において、「機能設定」タブ内にある「Windows ログイン時に ACK を自動起動する」チェックを ON にすることで、Windows ログイン時に自動的に本ソフトウェアを起動させることが可能です。

チェックを OFF にすることで自動起動を停止することも可能です。



※本ソフトウェアをインストーラーを用いて設定した場合、デフォルトで自動起動が ON になります。

コマンドウィンドウの四隅を角丸にする

本ソフトウェアのメイン画面となる「コマンドウィンドウ」において、四隅を角丸に変更することが出来ます。デフォルトでは四角表示です。

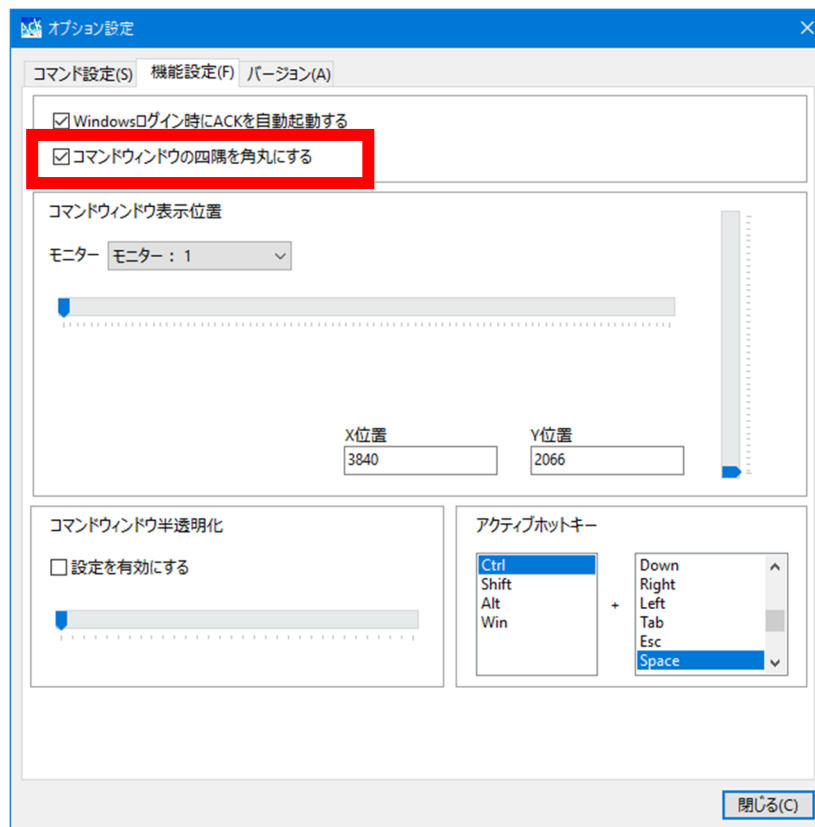


図:角丸表示



図:四角表示



コマンドウィンドウ表示位置設定

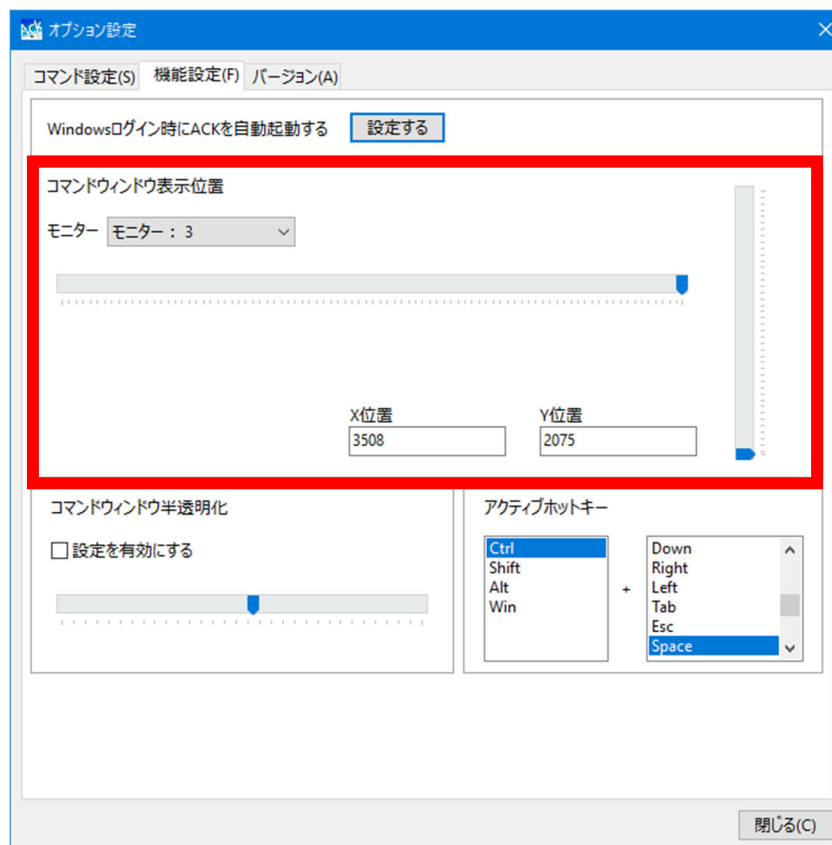
本ソフトウェアのメイン画面となる「コマンドウィンドウ」の表示位置を設定することが出来ます。



図:コマンドウィンドウ

オプション設定画面内の「機能設定」タブより、「コマンドウィンドウ表示位置」項目にて任意の設定を行って下さい。

マルチモニターにも対応しておりますので、表示したいモニターを選択し、配置を指定して下さい。



※Windows の仕様により、モニター番号が起動毎に変わる場合があります。

コマンドウィンドウ透過表示設定

本ソフトウェアのメイン画面となる「コマンドウィンドウ」を透過表示することが出来ます。最大透過状態では完全透過ではなく、10%程度残した状態となります。

図:通常状態

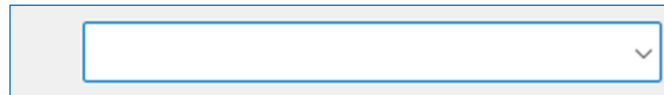
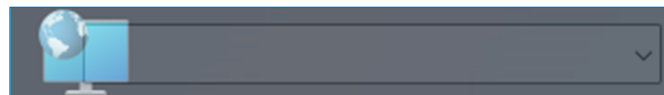


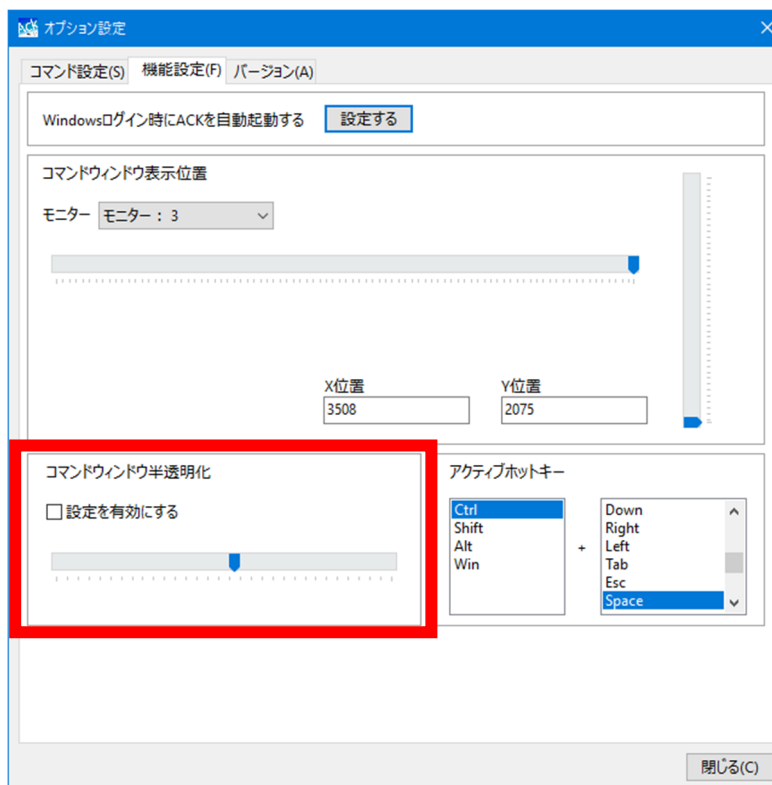
図:半透過状態



図:最大透過状態



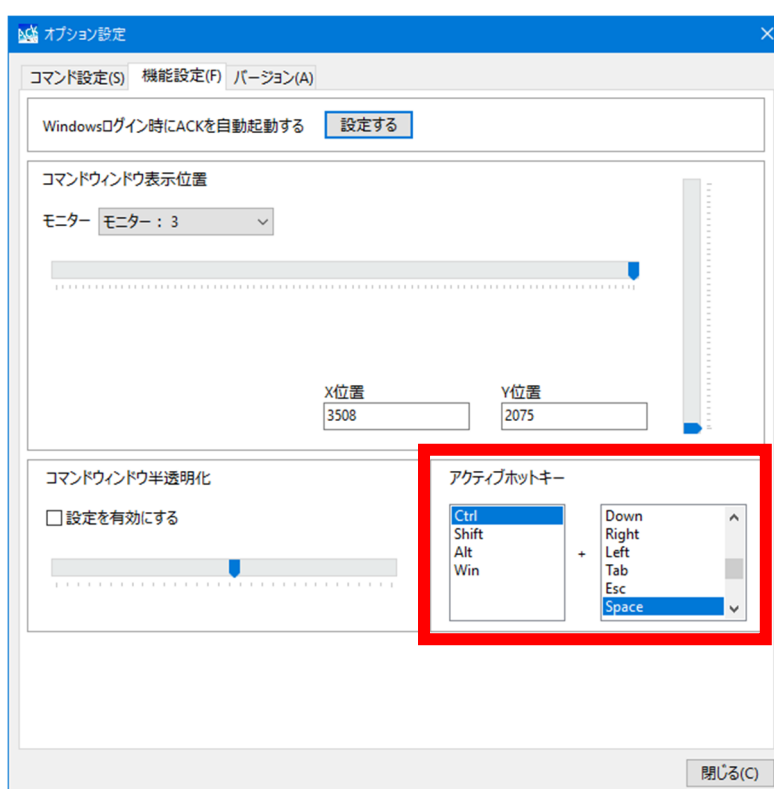
設定を有効にするチェックを ON にし、透過レベルを最小から最大の範囲内で好みの調整をしてください。



アクティブホットキー設定

本ソフトウェアの起動中、コマンドウィンドウは常時表示していません。このため、非表示状態となっているコマンドウィンドウを表示するためにホットキー設定(キーボードのキー組み合わせにより、本ソフトウェアを起こす設定)を行います。

本ソフトウェアでは「Ctrl+Space」がデフォルトのホットキーとして設定されていますが、他のソフトウェアが先に同じホットキーを登録していた場合に利用することが出来ません。このような場合に「オプション設定」の「アクティブホットキー」にて別な組み合わせへ変更します。



赤枠の部分において、親(Ctrl/Shift/Alt/Win)キーを指定します。親キーは複数選択することが出来ます。子キーは一つ選択出来ます。ユーザーの任意において、組み合わせを設定して下さい。

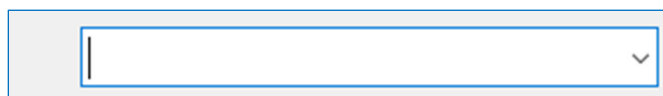
設定は「閉じる」ボタンを押下すると反映され、次回起動時も当該設定で動作するようになります。

コマンド入力

登録したコマンドを実行するには、本ソフトウェアにコマンド入力する必要があります。ホットキーを用いて本ソフトウェアを前面表示させ、コマンドを入力して下さい。

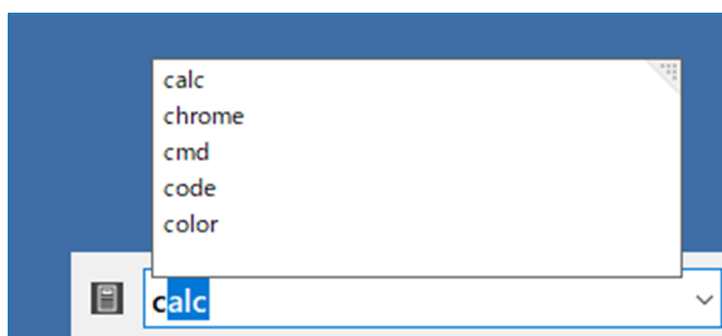
※未入力状態でキーボードの「↑」または「↓」キーを押下することで、登録されているコマンドの一覧を表示することが出来ます。

図:未入力状態



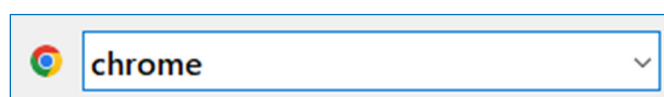
入力エリアでは入力された文字から候補のコマンド一覧とコマンドの補完機能が実行され、コマンド文字列全てを記憶している必要はありません。

図:コマンドの先頭文字列を入力した状態



コマンド入力が登録済みコマンドと同じであれば、左側にそのコマンドのアイコンが表示されます。

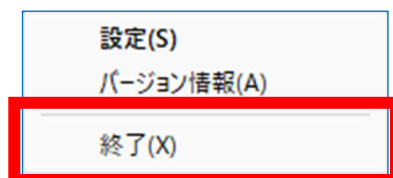
図:コマンド入力完了状態



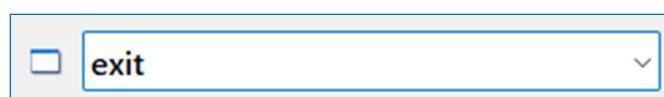
コマンド入力後に Enter キーを押下するとコマンドが実行され、登録されたソフトウェアやフォルダ、ウェブサイトなどが実行されます。

終了

タスクトレイより本ソフトウェアのアイコン  を右クリックし、表示されたメニューより「終了」を選択すると本ソフトウェアが終了します。



またはコマンド入力において「exit」か「quit」を実行することでも本ソフトウェアを終了することが出来ます。



免責事項

本プログラムの使用によって生じた損害等の全てについて、保証を含む一切の義務を負いません。当該事項を了承のうえ、利用者の責任(自己責任)でご利用ください。

著作権

本ソフトウェアに関する全て(プログラム、ウェブサイト、ドキュメント等)はエムズテクノロジーに帰属します。

本ソフトウェアの転載を行う場合はエムズテクノロジーへご連絡のうえ許諾を得てから行って下さいますようお願い致します。また本プログラム提供時の状態での転載のみとし、掲載時はエムズテクノロジー製のソフトウェアであること、ウェブサイトへのリンクを記載して下さい。

謝辞

本ソフトウェアではユーザーデータの保存に「SQLite」を利用させて頂いております。開発やメンテナンスに従事される皆様に謝意を表します。

※「SQLite」の配布についてはパブリックドメインと定義されており、詳細については <https://www.sqlite.org/> を参照下さい。

連絡先

ウェブサイト <https://mztech.xsrv.jp/ackv2/>
メール contact@mz-tech.jp

改版来歴

バージョン	リリース日付	内容
1.0.0	2024/08/25	・初版